

<タイプ別目標構造表(Nタイプ-ver.3)>

中目標1：身近な生活行動場面の基礎知識・基礎技能

小 目 標	達 成 目 標	リ ス ト
1) 交通 交通機関を利用して目的地に行くことができる	① 徒歩や自転車での通行に関する <u>交通ルールや注意事項</u> を守って通行できる	◇車は左人は右、信号、道路・踏切の横断、自動車の内輪差、危険行為
	② 地図を見たり、通行人に道を尋ねたりして、目的地に行ける	
	③ 前もって行き方を調べて、目的の駅まで電車を利用して行ける	◇駅の構造、路線図、時刻表の見方、人に尋ねる方法等
	④ 前もって行き方を調べて、目的の停留所までバスを利用して行ける	◇路線図、時刻表の見方、人に尋ねる方法等
	⑤ 道に迷ったときや事故に遭遇したときの <u>対応</u> ができる	◇周りの人や交番(含：交番の役割)に助けを求める、センターに連絡をとる
2) 消費生活 消費生活についての知識を身に付け、日常必要な物が買え、サービスが利用できる	① <u>商店の形態の違いや価格の仕組み</u> の概略を知る	◇デパート、スーパー、コンビニ、個人商店、ディスカウント店 ◇消費税、流通機構(生産者から消費者まで)
	② 買いたい物のある <u>場所</u> を探して、 <u>選んで買える</u>	◇表示(店内)を見て場所を探す、人に尋ねて場所を探す ◇表示(サイズ、製造年月日、品質)・広告(値引き、期間等)を見て物を選ぶ、人に尋ねて物を選ぶ、試着して選ぶ、見分けにくい日用品(シャンプー、リンス、化粧品、洗剤)に関する商品知識、買い物の際のマナーや注意事項
	③ <u>身近なサービス</u> が利用できる	◇写真の現像・焼き増し、機器の修理、クリーニング、理髪店・美容院、レストラン、喫茶店、ファーストフード
	④ 釣り銭の間違いに対処でき、品物の返品交換ができる	
	⑤ <u>契約上のトラブルを回避するための知識</u> を身に付ける	◇印鑑の重要性、訪問販売の利用で気を付けること
	⑥ <u>金融機関の種類や利用法</u> を知る	◇銀行、郵便局、ノンバンク(含：ノンバンク利用で気を付けること) ◇口座を持つことの利点(預貯金、自動振替、クレジットカード)、口座の開き方、預貯金の出し入れの仕方、キャッシュカードの使い方、公共料金の振り込み方
3) センター センターでの学習生活に必要な知識を身に付け、必要な行動ができる	① 欠席、早退、遅刻の届けができる	
	② <u>当番(日直等)の仕事</u> が果たせる	◇教室内外の整備(チョーク、その他の備品、掃除)、教師との連絡(含：宿題)、昼食関係(食券、配膳、後片づけ)
	③ <u>その他、センターの規則</u> を守って行動できる	◇喫煙、飲食、内ばき・外ばき、時間、身分証携帯、団体行動
4) 住居・近隣対応 居住環境についての知識を身に付け、近隣の人や援助してくれる人と良好な関係を保つことができる	① <u>住居内の安全と衛生に関する知識</u> を身に付ける	◇ガス、電気、施錠、住居用洗剤等の薬品、布巾と雑巾との区別、災害への備え
	② <u>日本の住宅事情と住宅の種類や入居方法</u> を知る	◇家賃の高低の要因、移転の自由 ◇公営住宅の種類・競争率、帰国者への優遇処置、民間住宅の種類 ◇不動産屋の利用の仕方(含：広告の見方)
	③ 日本の <u>近所付き合い</u> について知り、近隣の人とよい関係を保てる	◇引っ越しの挨拶、回覧板処理、町内会制度、ゴミの分類と出し方、緊急時の連絡(急病、火災、盗難)、苦情(言う、言われる)、物のやりとり(おすそわけ、みやげ)、慶弔の知識
	④ <u>身元引受人や自立指導員の役割</u> を知り、これらの人々と <u>よい関係</u> が保てる	◇役割の知識 ◇依頼・相談の際のマナーについての知識、付き合い方の色々、招く、招かれる、時候の挨拶、贈答、事例
	⑤ <u>接客・訪問の基本的なマナー</u> を身に付ける	◇和室でのマナー(立ち振る舞い、お茶の出し方、飲み方)、食器類の知識、飲食のマナー(和食、洋食、コーヒー、紅茶)、食べ物の勧め方、断り方
5) 職場・自分学校 求職の方法や職場の習慣についての知識を身に付け、簡単な面接試験に対応できる	① <u>求職</u> について知る	◇求職の必要性(国家の振り分けはない、競争社会の原理)、雇用条件(勤務時間、保険制度、給料の仕組み、休暇制度)、雇用形態(正社員と他との違い)、求職の方法と流れ(職安、求人雑誌等)
	② <u>職場の習慣</u> について知る	◇欠勤、早退、遅刻の正当な理由(病気、交通事情、慶弔)と処理の仕方、長期休暇のとり方、行事、職場の電話・事務用品は私用に使えないこと、退社後の交際、他人の給料の額は聞かないこと、お茶汲み等の男女差、日常的な挨拶
	③ <u>簡単な面接試験</u> に対応できる	◇求人広告の読み取り、履歴書の記入、簡単な問い合わせ(直接、訪問、電話)簡単な面接試験(就職、進学時)のやりとりとマナー
6) 健康 日本の医療事情についての知識を身に付け、医療機関が利用できる	① <u>日本の医療制度</u> について知る	◇医療券、健康保険の種類、健康保険の仕組み、病院の種類、緊急医療体制
	② <u>健康衛生を保つための知識</u> を身に付ける	◇気候と衛生、薬局、健康診断、常備薬、保健衛生※ ※専門家による
	③ 1、2度自立指導員等の付き添いがあれば、次からは自力でその <u>医療機関</u> が利用できる、家族の付き添いもできる	◇付き添いの依頼、医療機関利用の流れ、受診の流れ(含：再診)、症状の説明、既往症・持病・アレルギーの有無、医師の指示の理解、薬の飲み方の理解
7) 通信 郵便や電話についての知識を身に付け、利用できる	① <u>電話利用に必要な知識</u> を身に付け、 <u>電話の利用</u> ができる	◇電話普及の実態、電話設置の方法、料金の仕組み、明細の見方、電話の役割(約束、約束変更、緊急時等)、国際電話(中国)のかけ方、会社の種類 ◇電話機の種類と使い方(留守電)、電話のマナー(含間違い電話)、家に来た電話の取り継ぎ、相手の名前や電話番号の記録、学校や職場への欠勤・遅刻の連絡と呼び出し、指導員等への来訪依頼、センターでの実習における現在地の報告・緊急時の連絡、電話サービスの利用(104等)、簡単な問い合わせ
	② <u>郵便局の通信業務</u> について知り、国内及び中国に <u>手紙や小包</u> が出せる	◇郵便局の通信業務(郵便の種類※、郵便番号、料金、中国に送れない物、不在時の受け取り)、宅配便 ※書留も含む ◇表書き、郵便局でのやりとり(テキスト参照)、季節の挨拶状、簡単な近況報告の手紙
8) 社会福祉・手続き 帰国者が受けられる公的援助と必要な手続きについて知る	① <u>帰国者受け入れに関する公的援護策</u> について知る	◇生活保護制度、自立指導員、日本語学習の機会、公営住宅の優先入居(埼玉と千葉は例外)
	② <u>自分に必要な諸手続きの種類</u> とその方法を知る	◇生活保護、年金、役所の窓口、書類の記入、外国人登録または住民登録、国籍取得、家族の呼び寄せ、出入国
9) 子弟教育 日本の教育事情を知り、父母を助けて保護者の役割が果たせる	① <u>日本の学校制度や教育事情、帰国者二世の進学事情</u> を知る	◇学齢と学制、義務教育制度、進学率(小中高大)、教育費 ◇中学編入学年決定の要因、高校入試(一般入試と特別入試、全日制と定時制職業高校)、大学入試(一般入試と特別入試、昼間部と夜間部)、その他の教育機関(夜間中学、職訓校、専門学校)、奨学金制度
	② <u>小中学生の生活</u> について知り、 <u>学校との連絡</u> や必要な物の準備ができる	◇学校の日(学科、給食、クラブ活動)、学校の一年(学期、学校行事、長期休暇)、校則(服装、飲酒喫煙禁止、欠席の届け) ◇お知らせや成績表の処理、お弁当作りの工夫
	③ <u>兄弟が学校適応上直面する問題</u> とその対応	◇差別やいじめの原因(受け入れ側の経験不足、生活習慣の違い、年齢の違い)

	策について知る	トラブル事例)
--	---------	---------

中目標2：将来の生活に有用な基礎知識・基礎技能

小目標	達成目標	リスト
1) 一般教養 帰国者二世に必要な一般教養を身に付ける	① 日本と中国の政治体制の違いについて知る	◇憲法(国民主権、平和主義、基本的人権の尊重)、政治の仕組み(行政機構・三権)、市民の権利と義務、日本の年号と天皇制
	② 日中間の主な歴史的出来事と日本の簡単な戦後史を知る	◇阿片戦争、幕末、明治維新、日清・日露戦争、大陸侵略、太平洋戦争、敗戦、国共内戦、中華人民共和国成立、朝鮮戦争 ◇日本の民主化と復興
	③ 日本と世界の簡単な地理を知る	◇日本の地方・行政区分、主な県・都市名、地勢と気候、人口、面積、世界の主な国の位置、国名、首都、簡単な地勢と気候
	④ 日本人の生活様式や価値観について知る	◇冠婚葬祭、年中行事、余暇娯楽、身だしなみ、流行、食生活、経済生活(貯蓄、家計)、職業観、行動原理(集団指向)、教育事情(学校制度、学歴社会)、青年のライフコース、免許資格社会、交際事情(対友人・親戚等)、家族事情(親子関係、同居・別居)、女性の地位(家庭、職場)
	⑤ 中国帰国者問題について知る	◇残留孤児問題の歴史的背景、残留孤児の日本社会定着にまつわる社会的問題(住宅、就職、生活保護、異文化間のトラブル)、国籍と権利(国籍取得による得失)
	⑥ 簡単な機器の操作を試みる	◇電卓、コピー機、カメラ、ビデオデッキ、ビデオカメラ、CDラジカセ、ワープロ、ビデオウォークマン等
2) 異文化 異文化社会での適応に伴う問題、及び日本での人間関係において生ずる問題を知り、自分の問題として対処法を考えてみる	① 一般的な異文化適応過程について知る	
	② 異文化事例等を通じて、文化の異同を把握し、その背景について考えてみる	◇入郷随俗・等のトラブル事例、先輩の事例など個別のケース
	③ サポートの入手法について知る	◇中国帰国者のネットワーク、在日中国人のネットワーク、職場や地域のネットワーク、「命の電話」等の相談機関(援護基金相談室、対中国人、対日本人)、個別のケース(先輩の事例)
3) 日語自学 日本語の自学自習能力を高める	① 自分の学習観や学習方法について考えてみる	※辞書を引く力については要確認
	② 自分で学習計画を立て、実施し、評価する能力を高める	
4) 情報収集 情報メディアについて知り、自分に必要な情報を収集してみる	① 一般的な、また帰国者にとって便利な情報メディアや情報提供機関について知る	◇新聞、折込チラシ等広告、情報誌紙、テレビ、図書館、電話サービス(中国語ニュース等)
	② 自分の進路や生活に必要な情報を収集してみる	◇電話・郵便・詳しい人へのインタビューを通して進学情報・学校案内・要項等の情報資料を入手する、テレビ番組欄・情報誌を通してレジャーや趣味に関する情報を入手する、テレビ・雑誌を通して天気予報・住宅・アルバイトに関する情報を入手する、テレビ・新聞を通して今話題のニュースを知る
5) 進路知識 帰国者二世の進路決定に必要な知識を身に付け、自分の将来について考えてみる	① 進学の可能性と方法について知る	◇日本での中卒後の進路(二部・通信含む)、帰国者卒のある大学(場合によっては高校)と留学生卒のある大学、大学の帰国者卒・留学生卒の受験手続き(資格、方法、時期、必要書類、試験内容の概略、統一試験、日本語能力試験、奨学金)、修了生の体験談、ケース紹介
	② 進路を決める際に必要な情報の入手先について知る	◇学校案内入手問い合わせ先、帰国者のための相談室等
	③ 職業上の中国語力活用の可能性について知る	◇要求される中国語、求人状況、修了生ケース具体例
	④ 技術習得、資格取得の方法について知る	◇職業に関わる各種資格(調理師、美容師、看護婦、運転免許、...) / 資格取得への道 / 職業訓練校・専修学校の学科、入学方法 / 修了生の体験談、ケース紹介

中目標3：身近な生活や将来の生活の基礎となるコミュニケーションの力

小目標	達成目標	リスト
1) 話題コミ 日本人と接することを通して、コミュニケーションに対する柔軟な姿勢を築くとともに、身近な話題でコミュニケーションできる	① 相手の発話が理解できないとき、自分の発話が伝わらないときの対処ができる	◇有効な筆談の方法、聞き返し、意志表示の仕方等
	② 自分に身近な話題でコミュニケーションできる	◇自己紹介、家族、故郷、仕事・学校、中国での生活(衣食住・日課等)、趣味、将来の希望、日中の生活様式(衣食住、生活習慣、行事等)、日本での生活
	③ 時や場所、相手を考えて、話題を準備したり、展開したり、適切な言い方を選んだりすることができる	◇共有できる話題、避けたほうが良い話題 ◇文体、待遇表現等
2) 日語知識 日本語の基礎的な知識を補足整理し、深める	① 日本の文字の概要について知るとともに平仮名、片仮名及び日常よく使われる漢字、ローマ字の読み書きができる	◇文字の種類と使い分け、50音図の仕組み、ローマ字表記の仕組み、日中の漢字字体の異同、漢字の音訓の別 ◇『身のまわりの漢字』の読み書き、『中国の漢字・日本の漢字』
	② 基本的な語彙や表現の意味を知り、使える	◇『基本単語表』『基本文型・表現表』(Nレベル)
	③ 日本語の音声上の特徴に注意して発音できる	◇単音・特殊音・拍・アクセント・イントネーション・プロミネンス
	④ 日本語の文法についての基本的知識を補足整理する	◇『日本語のきまり・練習帳』単文の基本構造、文体、動詞の活用形、テ形を使った表現、授受表現、使役形、受け身、敬語、自動詞・他動詞、接続、テンス
3) 読解 まとまりのある文章が読める	① 「2) 日語知識」レベルの文章が精読できる	◇センター開発教材(Nレベル)
	② 読解ストラテジーを使って、事実関係が明確で、かつ、身近なテーマの文章の大意がとれる	◇漢字の拾い読み、既習の日語知識からの類推、前後関係からの類推、文章レイアウト・図表・写真の利用、5W1H、段落と段落の関係等 ◇中国関係・事件・話題のニュース等の新聞、雑誌記事
4) 作文 まとまりのある文章が書ける	① 「2) 日語知識」レベルの文章が書ける	◇センター開発教材
	② いろいろなスタイルの文章がモデルに従って書ける	◇日記文、実習報告文、手紙文、自己紹介文、感想文
	③ 原稿用紙の使い方、符号の意味を知り、正しく使える	